

5月のでがたんにご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回6月のでがたんは、6月9日(土)で、「田んぼに集まる生き物たち」がテーマです。ぜひご参加ください。

* 市民スタッフの方へ 次回のでがたん下見は、6月3日(日)の9:30からです。

5月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→藤棚→市民農園→けやき広場
- 観察日時と天気：2018年5月12日(土) 10:00～12:00 晴れ
- 市民スタッフ：6人 (弘實さと子、石原直子、大嶽若緒、木村稔、小泉伸夫、湯瀬一栄、) ※太字は今月の案内人
- 鳥博職員：2人 (齊藤安行・美濃亜理彩)

観察した生き物の記録

【鳥類】

キジ科：キジ／カモ科：カルガモ／カイツブリ科：カイツブリ／ハト科：キジバト／ウ科：カワウ／サギ科：アオサギ／クイナ科：バン、オオバン／チドリ科：コチドリ／シギ科：タシギ／ツバメ科：ツバメ／モズ科：モズ／ヨシキリ科：オオヨシキリ／カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス／シジュウカラ科：シジュウカラ／ヒヨドリ科：ヒヨドリ／ウグイス科：ウグイス(声のみ)／ムクドリ科：ムクドリ／スズメ科：スズメ／セキレイ科：ハクセキレイ／ホオジロ科：ホオジロ／アトリ科：カワラヒワ／外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【昆虫】

チョウ目：ヤマトシジミ、モンシロチョウ、モンキチョウ、ダイミョウセセリ、クロアゲハ、ジャコウアゲハ、アオスジアゲハ、ナガサキアゲハ、アカボシゴマダラ、ゴマダラチョウ、サトキマダラヒカゲ、オビカレハ(幼虫)、チャドクガ(幼虫)、マツカレハ(幼虫)、オビガ(幼虫)、タケカレハ(幼虫)、マイマイガ(幼虫)、カマキリ目：ハラビロカマキリ(卵のう)、オオカマキリ(卵のう)／トンボ目：ウチワヤンマ、ギンヤンマ、アオモンイトトンボ／バッタ目：ショウリョウバッタ(幼虫)、ハネナガヒシバッタ、キンヒバリ、ヒメギス／ハエ目：アオメアブ、ハラボソムシヒキ／コウチュウ目：ナナホシテントウ、クロウリハムシ、ベニカミキリ／ハチ目：クマバチ、コマルハナバチ、ヒメハナバチ、トラマルハナバチ、セイヨウミツバチ／カメムシ目：ホソハリカメムシ／ガガンボの仲間：ベッコウガガンボ

【クモの仲間】

コガネグモ、ゴミグモ、クサグモ、アシナガグモ、オニグモ、カラスハエトリ、ヨダンハエトリ

【両性類】

ウシガエル、アマガエル、トウキョウダルマガエル(幼生)、シュレーゲルアオガエル(声のみ)

【魚類】

ミナミメダカ、ドジョウ

【その他の生き物】

ウマビル、カイミジンコ

【草の花】

キンポウゲ科：ケキツネノボタン、タガラシ／ケシ科：ナガミヒナゲシ／ナデシコ科：コハコベ、ウシハコベ、オランダミミナグサ／アブラナ科：ナズナ、マメグンバイナズナ、セイヨウカラシナ／バラ科：オヘビイチゴ、ノイバラ、ナワシロイチゴ／マメ科：カラスノエンドウ、シロツメクサ、コメツブツメクサ／アカバナ科：ユウゲシヨウ、ヒルザキツクミソウ、コマツヨイグサ／カタバミ科：カタバミ、アカカタバミ、オッタチカタバミ／セリ科：ヤブジラミ／ムラサキ科：キュウリグサ／オオバコ科：オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ／キク科：セイヨウタンポポ、ノゲシ、オニノゲシ、ノボロギク、オオジシバリ、オニタビラコ、ヤブタビラコ、コウゾリナ、ハハコグサ、チチコグサ、ウラジロチチコグサ、チチコグサモドキ、ハルジオン／イネ科：チガヤ、コバンソウ／ハマウツボ科：ヤセウツボ／ハエドクソウ科：ムラサキサギゴケ／アヤメ科：キショウブ、ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ／スイカズラ科：スイカズラ

【樹木】

エゴノキ科：エゴノキ／クスノキ科：クスノキ／モクセイ科：イボタノキ

観察した生き物の記録

今回のてがたんのテーマは「鳥の子育て」でした。手賀沼遊歩道を歩きながら、鳥の繁殖に関連する行動を観察しました。また、昆虫や植物など、多くの種類の生き物が見られました。



今月の案内人 弘實さと子さん



①博物館裏の木にとまるハシボソガラスの幼鳥。



③メタセコイアの樹上でさえずっていたオオヨシキリ。



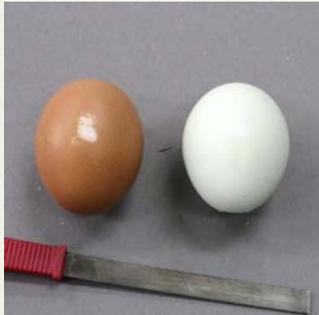
④ツツジの中にいたタケカレハの終齢幼虫。



⑤スイカズラの花。良い香りがしました。



⑥X字形の隠れ帯をつけたコガネグモの巣。



②ニワトリの赤い卵と青い卵の表面をヤスリで削る実験をしました。



歩いたルートと観察した生き物



⑦藤棚付近で見つかったモズの古い巣。下見時は近くに巣立ちピナも見られました。



⑨キク科やマメ科植物に寄生するヤセウツボ。



⑧市民農園前の杭で羽干しをしていたカワウ。



⑩水面を泳いで移動していたバン。



⑪藤棚の前を歩いていたキジの雄。鳴き声もよく聞こえました。



⑫田んぼの中で餌を食べながら歩き回っていたコチドリ。

今月の鳥 スズメ スズメ目 スズメ科

日本では小笠原諸島を除くほぼ全域に生息しています。

繁殖期になると瓦屋根のすき間や巣箱などに小枝などを運び入れて巣を作り、卵を産み落とす産座には獣毛や羽毛を使います。抱卵はオスとメスで交代して行います。ヒナは孵化してから約2週間で巣立ちを迎え、しばらくは親鳥から餌をもらいながら過ごします。巣立ちしたヒナを見つけたら、近くに親がいるので、遠くから見守るようにしましょう。



巣箱に巣材の羽毛を運び入れるスズメ